

■米国：オレゴン州で風力と太陽光に蓄電池を付加した事業が実現へ

2019年2月13日付のエネルギー専門サイトは、米国のオレゴン州で電力会社2社が共同で風力発電、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた再エネハイブリッド発電事業を開始すると報じた。これらの3つの技術を組み合わせた取り組みとしては初めての大規模なものと伝えている。参加する事業者はポートランドを中心にオレゴン州に電力供給を行うPortland General Electric (PGE) と、フロリダ州を本拠として米国とカナダで電力事業を行うNextEraである。プロジェクトは30万kWの風力発電、5万kWの太陽光発電、3万kWの蓄電池で構成され、10万kWの風力発電をPGEが、残りの発電設備や蓄電池はNextEraが所有することになる。風力発電は2020年までに稼働し、その後太陽光発電と蓄電池が設置されることになる。発電される電力はすべてPGEが買い取る予定であるが、2社で保有することでプロジェクトリスクや利益を分散することになる。